

入札公告等の概要(参考)

本資料は、本工事の入札公告に示した条件の概要や工事内容をお知らせするための参考資料で、契約図書の一部ではありません。

本工事の詳細な内容に関しては、公告文、設計図書及び現場説明書等をご覧ください。

工事名	九段第2合同庁舎（H29）建築改修その他工事	
工事種別	建築工事	
工事場所(都県)	東京都	
工事場所(市区町村)	千代田区九段南1-1-15	
工事概要	<p>敷地面積 約6,746m²</p> <p>1. 建物</p> <p>1) 庁舎</p> <p>構造：鉄骨造 地上14階 地下2階</p> <p>建築面積： 約2,100m²</p> <p>延べ面積： 約29,900m²</p> <p>用途：庁舎</p> <p>工事内容：内装改修、耐震改修（天井支持鉄骨新設）、電気設備、機械設備</p>	
担当事務所	東京第一営繕事務所	
公告日／期限日／開札日	H29.7.5 / H29.7.14 / H29.9.5	
工期末	H30.3.30	
入札契約方式／落札方式	一般競争入札（標準型）／総合評価落札方式（施工能力評価型Ⅱ型）	
競争参加資格要件の概要	等級(ランク)	建築D又はC
	本店・支店・営業所の所在地	関東管内に本店、支店又は営業所を有すること。
	企業の施工実績等	<p>平成14年4月1日以降に、元請けとして完成・引渡し完了した下記（ア）又は（イ）いずれかの要件を満たす工事の施工実績を有すること（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る（ただし、異工種建設工事共同企業体については適用しない。）。）。</p> <p>（ア）鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造又は鉄骨造の建築物の内装改修（ただし、塗装改修のみの場合を除く。）工事</p> <p>（イ）鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造又は鉄骨造の建築物の建築一式（躯体、内装、外装の全てを含む新築又は増築（増築にあつては増築部分とする。））工事</p> <p>ただし、申請できる同種工事の施工実績は1件のみとする。上記（ア）又は（イ）のいずれについても、軽微なもの（請負代金額が500万円未満の工事）は、実績として認めない。</p>

		<p>なお、当該実績が地方整備局所掌の工事（旧地方建設局所掌の工事を含み、港湾空港関係を除く。）又は工事成績相互利用対象工事に係るものにあつては、評定点合計（工事成績評定通知書の記4．成績評定①の評定点（評定点が修正された場合にあつては、修正評定点）をいう。）が65点未満のものを除く。ただし、請負代金額が500万円未満の工事は除く。</p> <p>経常建設共同企業体にあつては、構成員のそれぞれが上記の施工実績を有すること。</p> <p>また、異工種建設工事共同企業体としての実績は、協定書による分担工事の実績のみ同種工事の実績として認める。</p>
	<p>配置予定技術者の資格、工事経験等</p>	<p>次に掲げる基準を満たす主任（監理）技術者を本発注工事に配置できること。複数の技術者を申請する場合は、申請する全ての者について次に掲げる基準を満たしていること。</p> <p>1) 主任技術者は、1級建築施工管理技士又は2級建築施工管理技士、若しくはこれらと同等以上の資格を有する者であること。詳細は入札説明書による。</p> <p>2) 1人の者が、過去に、元請けとして完成・引渡し完了した下記（ア）又は（イ）いずれかに掲げる工事の経験を有する者であること（共同企業体の構成員としての経験は、出資比率が20%以上の場合のものに限る（ただし、異工種建設工事共同企業体については適用しない。）。）。</p> <p>（ア）企業の施工実績（ア）に同じ。</p> <p>（イ）企業の施工実績（イ）に同じ。</p> <p>ただし、申請できる同種工事の工事経験は1件のみとする。上記（ア）又は（イ）のいずれについても、軽微なもの（請負代金額が500万円未満の工事）は、実績として認めない。</p> <p>なお、当該工事経験が平成8年4月1日以降に完成・引渡し完了した、地方整備局所掌の工事（旧地方建設局所掌の工事を含み、港湾空港関係を除く。）又は工事成績相互利用対象工事に係るものにあつては、評定点合計（工事成績評定通知書の記4．成績評定①の評定点（評定点が修正された場合にあつては、修正評定点）をいう。）が65点未満のものを除く。ただし、請負代金額が500万円未満の工事は除く。</p> <p>経常建設共同企業体にあつては、構成員のうち1社の配置予定の主任（監理）技術者が上記の工事経験を有していればよい。</p> <p>また、異工種建設工事共同企業体としての経験は、協定書による分担工事の経験のみ同種工事の工事経験として認める。</p> <p>3) 配置予定の主任（監理）技術者にあつては直接的かつ恒常的な雇用関係が必要であるので、その旨を明示することができる資料を求めることがあり、その明示がなされない場合は入札に参加できないことがある。詳細は入札説明書による。</p>

「九段第2合同庁舎（H29）建築改修その他工事」の概要（参考）

本資料は、本工事の概要をお知らせするための参考資料で、契約図書の一部ではありません。本工事の詳細な内容に関しては、設計図書及び現場説明書等をご覧下さい。

1. 工事の概要

本工事は、九段第2合同庁舎（東京都千代田区九段南1-1-15）の14階大会議室等における、建築基準法施行令第39条の改定に伴う特定天井の改修を行うものです。

(1) 主な工事内容

- ・ 内装改修工事
14階大会議室等の特定天井（仕上げは化粧吸音板）を撤去新設
- ・ 塗装改修工事
上記内装改修に伴う、壁面等の塗装塗替え（仕上げは合成樹脂エマルションペイント）
- ・ 耐震改修工事
上記内装改修に伴う、天井補強鋼材を新設（鉄骨製作工場は国土交通大臣から認定を受けた工場とし、グレードの指定はありません）
- ・ 設備工事
上記内装改修に伴う、LED照明化改修（照明器具はJIL 5004「公共施設用照明器具」と同等）
上記内装改修に伴う、空調ダクトの改修

(2) 施工時期、施工時間、施工手順（想定）

- ・ 施工時期、施工期間については、K-02図を参照してください。
- ・ 本工事は、施設利用者と工事範囲を明確に分離した上での施工が可能です。
- ・ 来庁者、通行者の安全を確保するため、交通誘導員の人員を計上しています。現場説明書説明事項その2、現場及び技術に関する事項〔交通誘導警備員〕を参照して下さい。
- ・ 14階までの資機材の搬出入には、非常用のエレベーターの使用が可能です。
- ・ 設備工事における足場、養生等の仮設工事は、建築工事（K-01～03図）を利用できます。

(3) その他留意点

- ・ 本工事で見込んである施工条件、仮設などについては仮設備等計画図（K-01～03図）のとおりです。工事実施に当たって、発注時に想定し得ない事由や施工条件が変わる場合には、契約締結後、監督職員と協議のうえ、施工条件変更等の措置を講ずる場合があります。

2. 実態を踏まえた積算の運用、施工条件等の円滑な協議等

本工事において、以下の取組みを実施しています。

(1) 実態を踏まえた積算の運用

予定価格の算出にあたり、本人負担分の法定福利費相当額を反映した「公共工事設計労務単価」を用いるとともに、法定福利費相当額が反映された見積書式の活用を行う等、実態を踏まえた価格設定を行います。

(2) 施工条件等の円滑な協議

施工計画の立案にあたり新たに必要となった調査、工事施工に関して、新たに発生した条件等について監督職員と協議した結果、請負代金額の変更が必要と判断された内容については、設計変更の対象となります。

(3) 工事関係図書等の効率化

本工事は、受発注者相互の業務の効率化と品質向上を目的とし、「工事関係図書等の効率化」を行う工事です。工事関係資料の重複提出を避けるとともに、真に必要な最小限の工事関係図書等の作成及び管理を重点的に行うこととし、効率化できる書類について監督職員と協議した

上で書類作成等を行うこととなります。工事関係書類一覧表は次の URL よりダウンロードすることができます。 <http://www.ktr.mlit.go.jp/eizen/gijyutu/index00000001.html>

(4) 難工事指定について

本工事は、建物を使用しながらの改修工事を行うため、使用者の安全性を確保し、かつ、効率的な施工を行う必要があります。

そのため、本工事を「難工事指定」し、一定の工事評定点を取得した場合は、今後の入札手続における総合評価の加点対象といたします。

(5) 入札時積算数量書活用方式の適用

本工事は、入札時において発注者が入札時積算数量書を示し、入札参加者が入札時積算数量書に記載された積算数量を活用して入札に参加することを通じ、工事請負契約の締結後において、当該積算数量に疑義が生じた場合に、発注者及び受注者は、入札時積算数量書に基づき、積算数量に関して確認及び協議を行うことができる「入札時積算数量活用方式」を適用します。

(6) 工期に応じた共通費の算定

予定価格の算出にあたり、九段第2合同庁舎の共通仮設費及び現場管理費については、工事費に対して工期が著しく長期となるため、必要となる費用を積み上げにより加算しています。